

最近の管内経済概況

(2022年5月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、弱含みとなっている。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、弱い動きとなっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加している。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きに弱さがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2022年7月14日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2022年7月現在)

発 表 月	2022年2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月との判断比較
総 括 判 断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、 <u>持ち直しの動きが弱まっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きが弱まっている	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	
生 産 活 動	弱い動きがみられる	<u>持ち直しの兆しがみられる</u>	持ち直しの兆しがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	<u>弱含みとなっている</u>	
個 人 消 費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる</u>	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観 光	一部に持ち直しの兆しがみられる	<u>弱い動きがみられる</u>	弱い動きがみられる	<u>一部に持ち直しの兆しがみられる</u>	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	
公 共 工 事	減少している	<u>増加している</u>	増加している	増加している	<u>減少している</u>	減少している	
住 宅 建 設	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>弱まっている</u>	弱まっている	弱まっている	<u>弱い動きとなっている</u>	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇 用 動 向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企 業 倒 産	件数は同数、負債総額は減少している	件数、負債総額とも増加している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

生産活動 ～ 弱含みとなっている ～

5月の鉱工業生産は、前月比▲4.2%と2か月連続で低下した。前年同月比は▲0.6%と15か月ぶりに低下した。低下業種は、輸送機械工業など9業種となった。上昇業種は、一般機械工業など6業種となった。

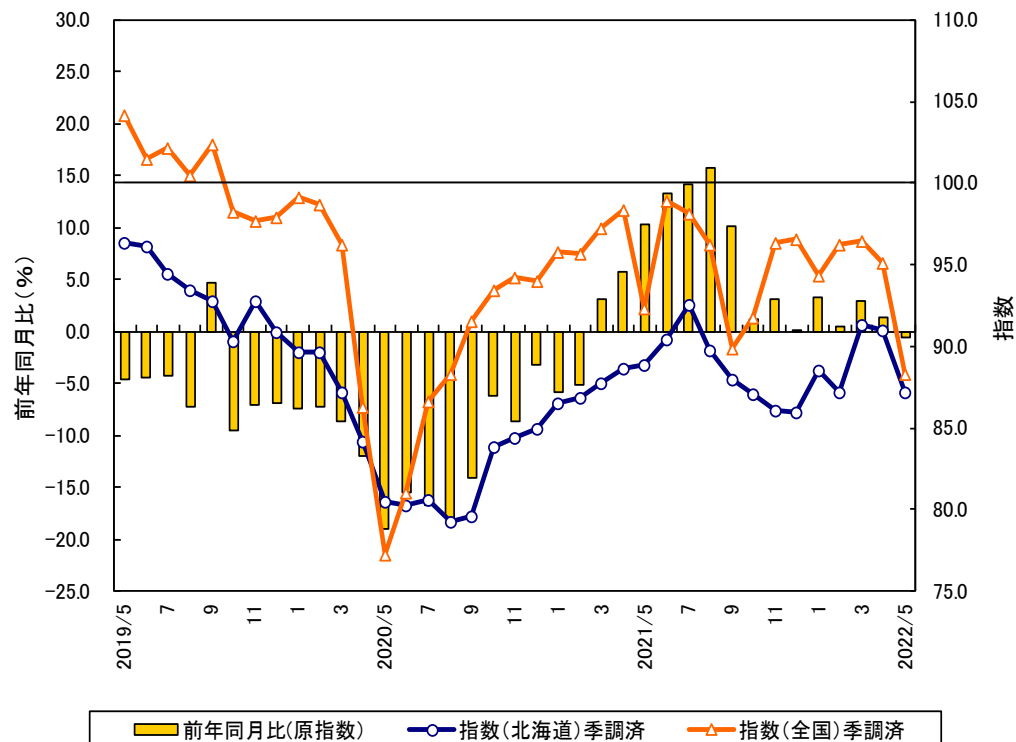
< 5月 >

季節調整済指数

北海道（速報） 87.2（前月比▲ 4.2%）

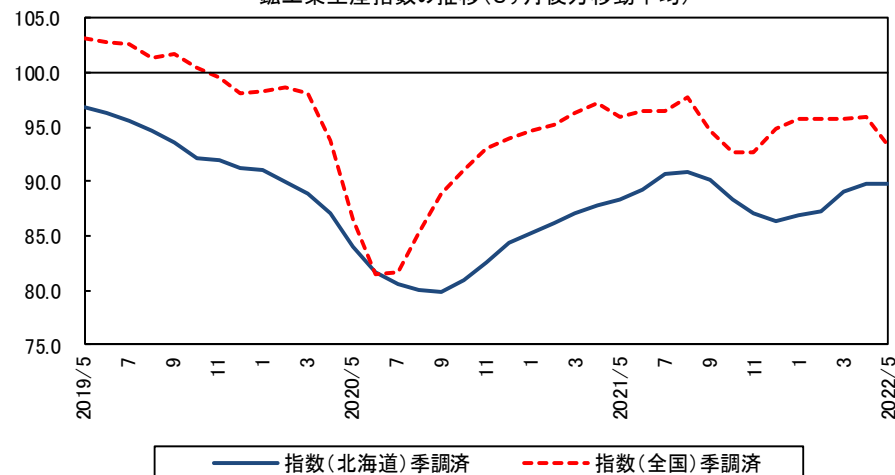
全 国（速報） 88.3（前月比▲ 7.2%）

鉱工業生産指数（2015年=100.0）



	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
低下 9業種	輸送機械工業	▲ 14.7	▲ 0.5	自動車部品
	食料品工業	▲ 6.8	+ 4.6	冷凍水産物
	電気機械工業	▲ 6.6	▲ 10.0	電子部品
上昇 6業種	一般機械工業	+ 13.9	+ 9.3	一般機械

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

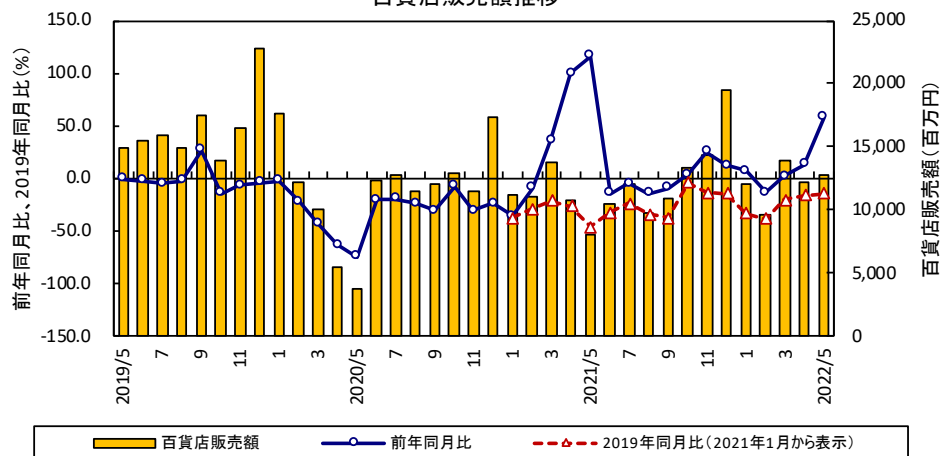
個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

5月の個人消費は、ホームセンター、新車販売は前年を下回ったものの、他の5業態は前年を上回った。

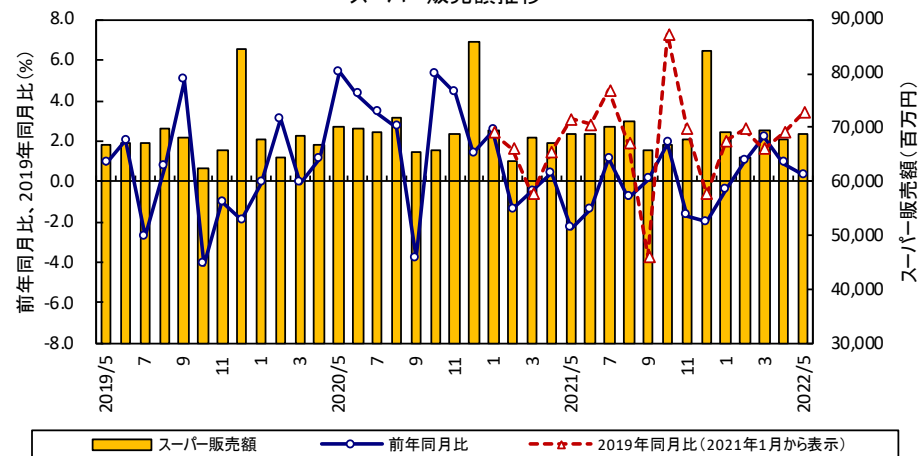
※2019年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- ・百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+57.4%（2019年同月比▲14.8%）と3か月連続で前年を上回った。
- ・スーパーは、飲食料品の売上げが不調だったものの、衣料品などが好調で、同+0.3%（同+3.4%）と4か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+5.5%（同▲0.1%）と7か月連続で前年を上回った。

百貨店販売額推移

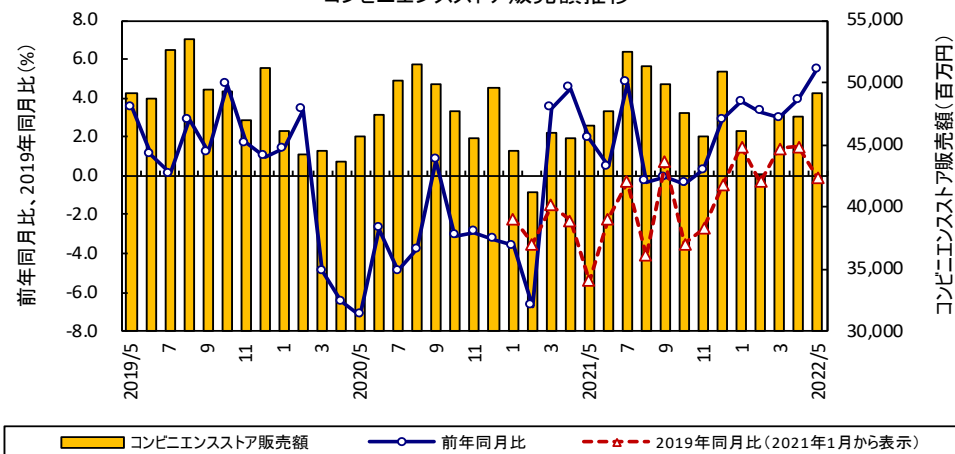


スーパー販売額推移



※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

コンビニエンスストア販売額推移

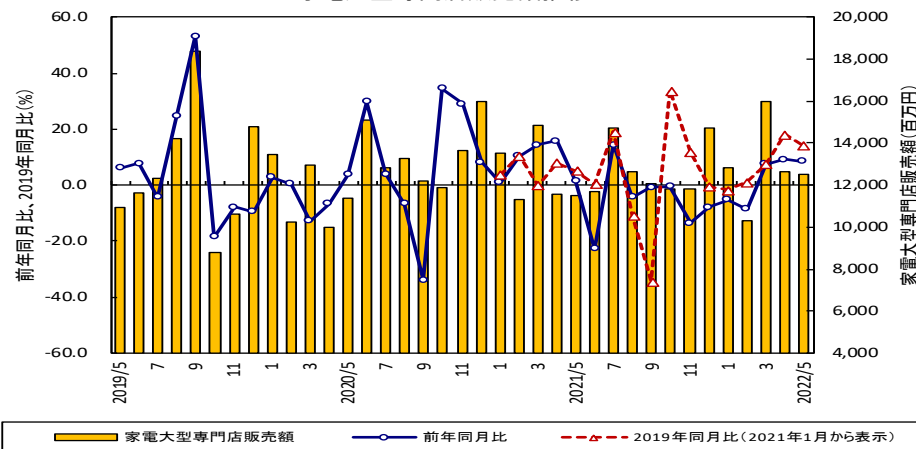


【ヒアリング内容】

- ・前年は緊急事態宣言を受けて、中旬以降、土日は売り場の一部を休業していたため、売上げ、客数ともに伸び悩んだ。今年はその反動もあり、全体的に売上げが好調だった。外出の機会が増えているほか、天候にも恵まれたため、客数が増加し、催事や衣料品の売上げが好調だった。（百貨店）
- ・食料品は、惣菜の売上げは堅調なもの、前年の巣ごもり需要の反動で、売上げが前年を下回った。今年では行動制限もなく、外出の機会が増えたため、衣料品は全体的に売上げが好調だった。（スーパー）
- ・4月に引き続き外出の機会が増えており、おにぎりや飲料の売上げが伸びている。前年は緊急事態宣言の影響で観光地や繁華街などの売上げが伸びなかったが、今年は回復している。（コンビニエンスストア）

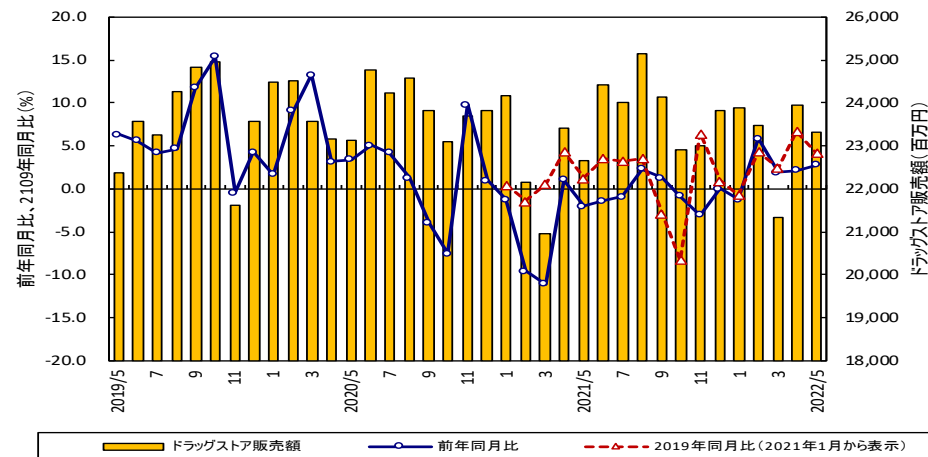
- ・家電販売は、同+8.6%（同+14.2%）と3か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+2.8%（同+4.2%）と4か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲0.0%（同+4.8%）と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同▲18.4%（同▲35.7%）と11か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



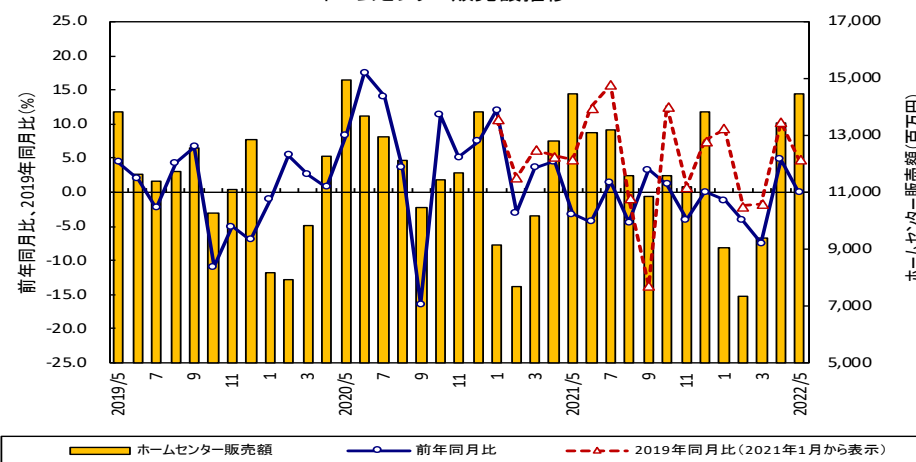
（資料：北海道経済産業局）

ドラッグストア販売額推移



（資料：北海道経済産業局）

ホームセンター販売額推移

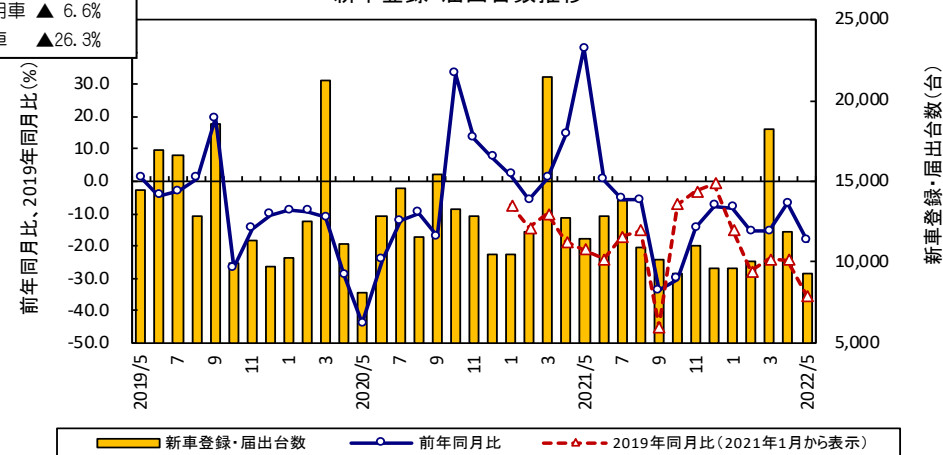


（資料：北海道経済産業局）

< 5月 >

普通乗用車 ▲19.2%
小型乗用車 ▲6.6%
軽自動車 ▲26.3%

新車登録・届出台数推移



（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

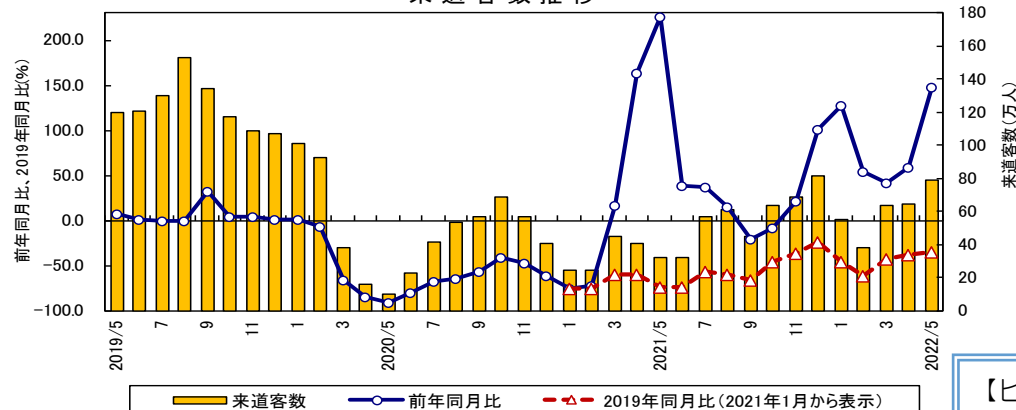
【ヒアリング内容】

- ・エアコンの売上げが引き続き好調で、売上げ全体をけん引した。（家電大型専門店）
- ・外出の機会が増加したためか、化粧品の売上げが伸びている。調剤医薬品の売上げは堅調に推移している。（ドラッグストア）
- ・巣ごもり需要で好調だったDIY関連用品の売上げが、減少傾向にある。（ホームセンター）

観光 ～ 一部に持ち直しの兆しがみられる ～

5月の来道客数は、前年同月比+147.9%（2019年同月比▲34.3%）と7か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、0人で前年同月と同数となった。

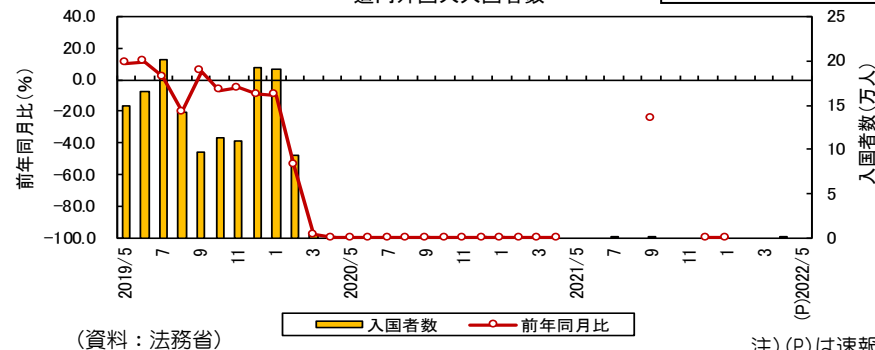
来道客数推移



< 5月 > 来道客数 785,338人 (+147.9%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光振興機構）

道内外国人入国者数



< 5月 >
 入国者数 0人 (- %)

（資料：法務省）

注）(P)は速報値

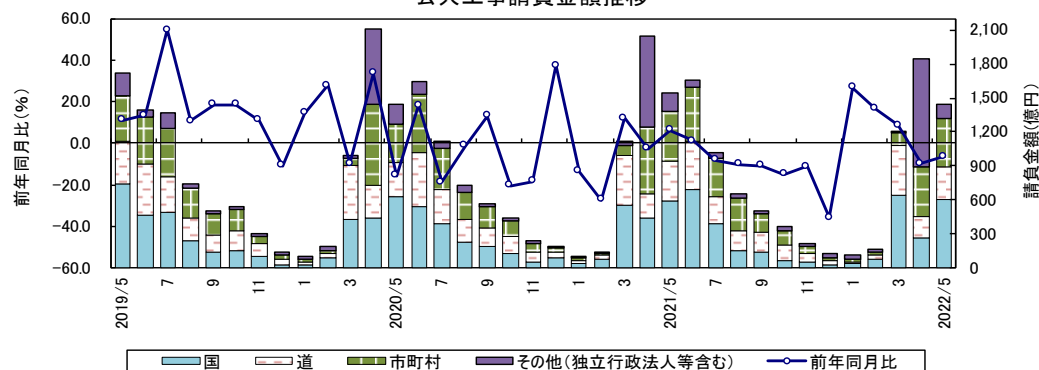
【ヒアリング内容】

- ・今年は3年ぶりに行動制限がないGWで、ファミリー層をはじめ首都圏からのツアー客など幅広い層の人出があり、宿泊者数は好調だった。また、道外からキャンピングカーで訪れる方もいた。6月は3年ぶりのイベントもあり、前月よりも宿泊者数は伸びているようで、週末は満室に近い宿泊施設もあった。（観光協会）

公共工事 ～ 減少している ～

5月の公共工事請負金額は、国は前年を上回ったが、道、市町村が前年を下回り、前年同月比▲6.3%と2か月連続で前年を下回った。

公共工事請負金額推移



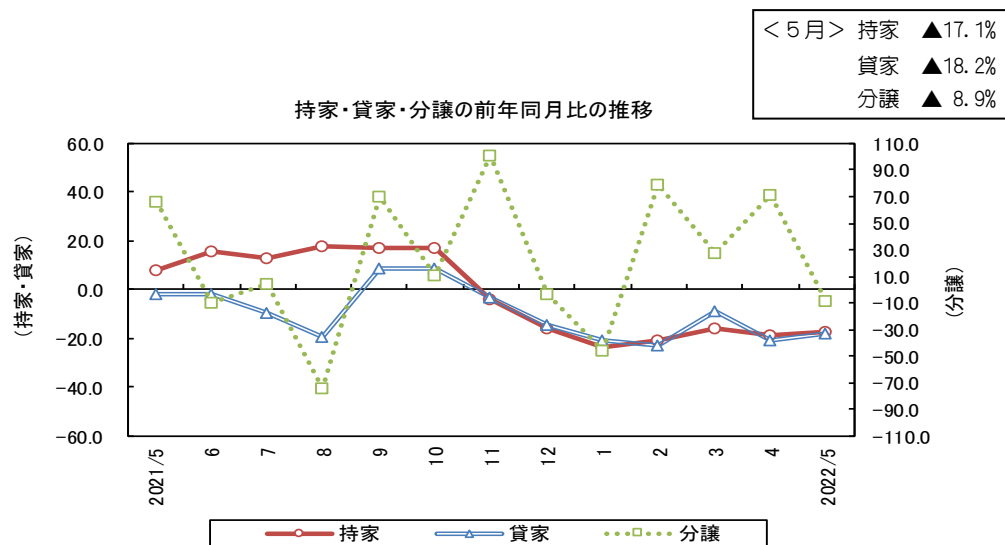
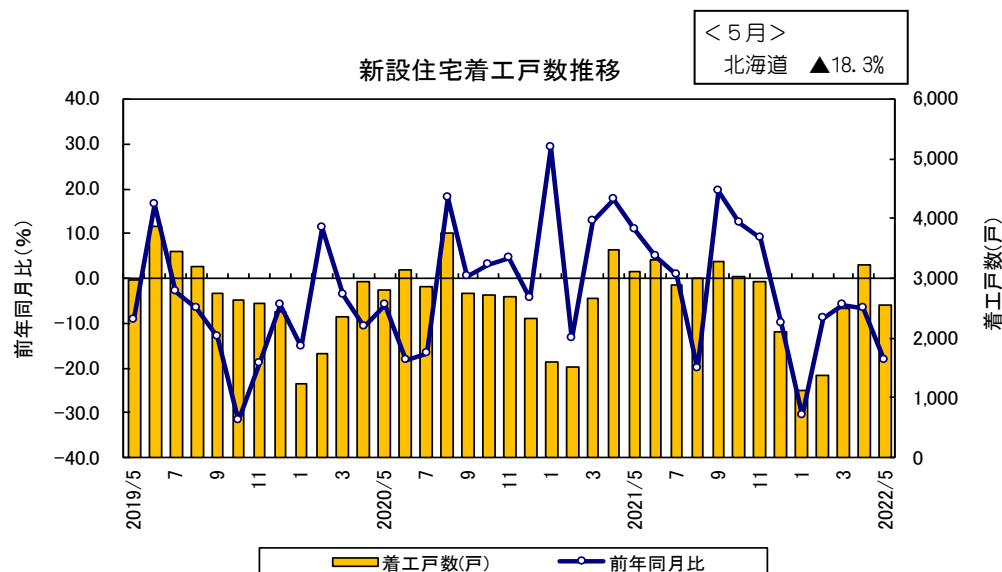
< 5月 >
 北海道 ▲6.3%
 （内訳）
 国 +2.0% 道 ▲17.0% 市町村 ▲2.7% その他 ▲21.9%

（請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額）

（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

5月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲の全てで前年を下回り、前年同月比▲18.3%と6か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2022年度の設備投資計画は、全体で前年度比+12.5%と3年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2022年7月1日発表

	2021年度	2022年度
北海道	▲ 5.5%	+ 12.5%
製造業	▲ 37.0%	+ 33.9%
非製造業	+ 13.2%	+ 5.5%
全国	▲ 0.8%	+ 14.1%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2022年6月13日発表

	2021年度	2022年度
全産業	▲ 19.5%	+ 39.1%
製造業	▲ 19.2%	+ 32.4%
非製造業	▲ 19.6%	+ 40.7%

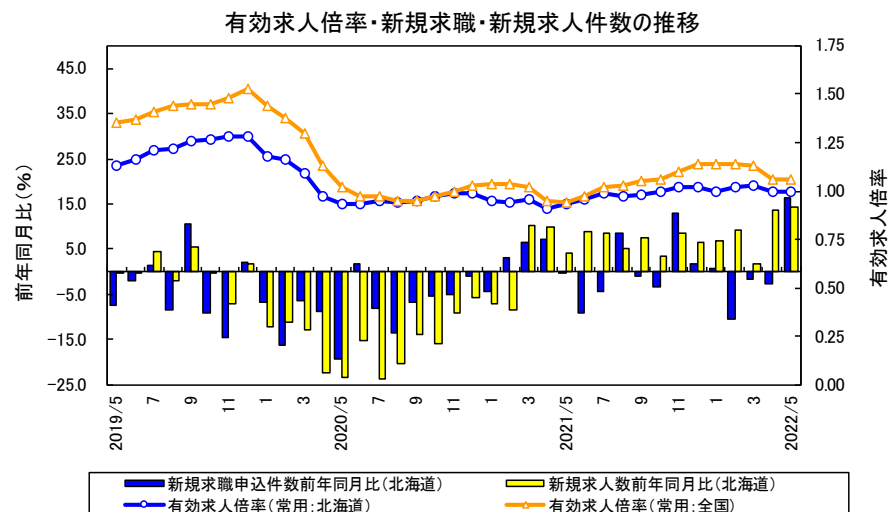
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

5月の有効求人倍率は、1.00倍と前年同月差0.07ポイント上昇し、12か月連続で前年を上回った。

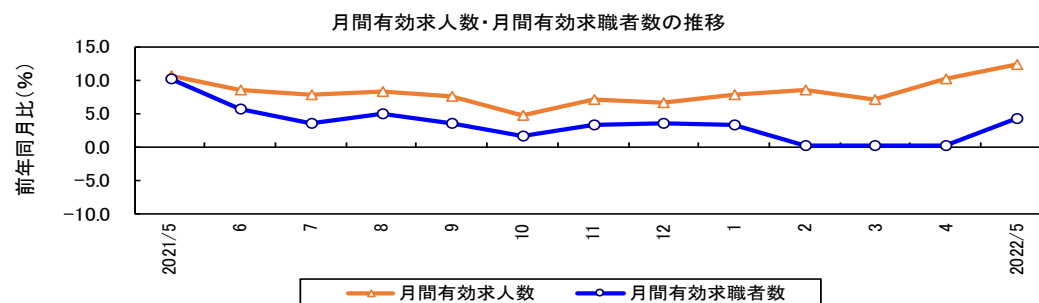


< 5月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	1.00倍
	新規求職人数(前年同月比)	+14.3%
	新規求職申込件数(前年同月比)	+16.4%
全国	有効求人倍率(常用)	1.06倍

< 5月 >

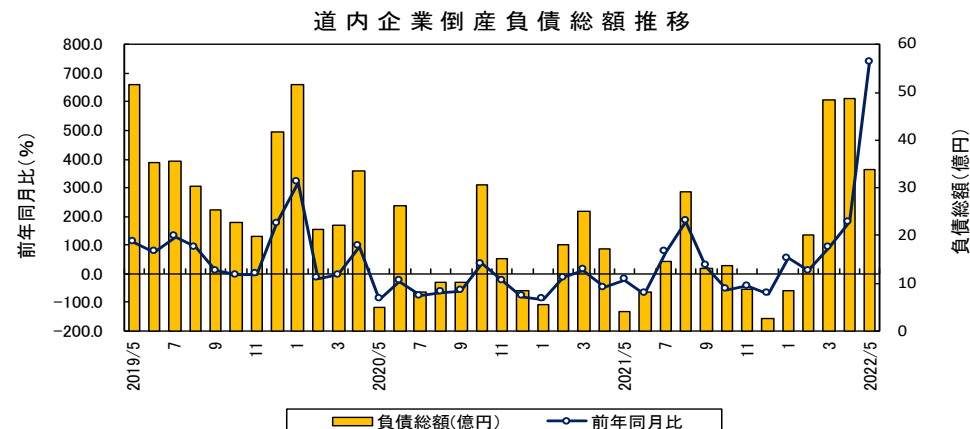
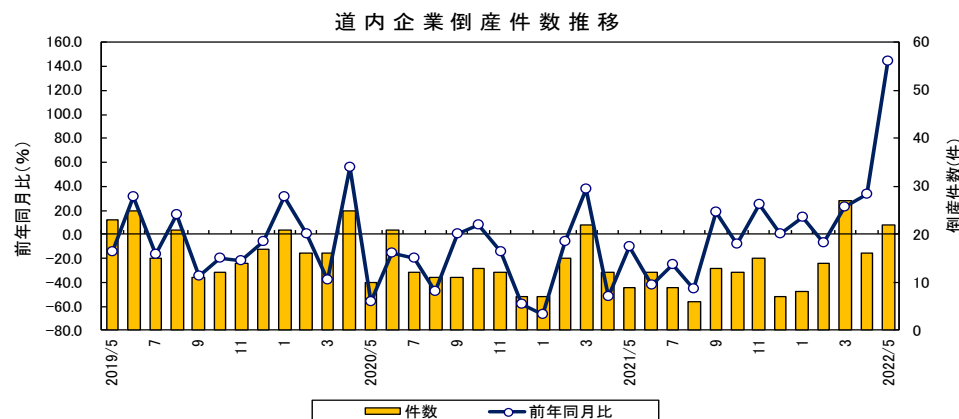
月間有効求職人数(前年同月比)	+12.4%
月間有効求職者数(前年同月比)	+4.3%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加している ～

5月の倒産件数は22件で、前年同月比+144.4%（13件増）と3か月連続で前年を上回った。また、負債総額は34億円で、同+740.3%と5か月連続で前年を上回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)